

事務事業名称	環境保全啓発補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	環境政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	27.地球温暖化対策に取り組むまち									
	実行計画名	27-1.地球温暖化対策の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2003(H15)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市環境基本条例				
関係補助金名称	環境保全啓発事業補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	環境意識が未醸成な市民(その効果は全市民に及ぶ)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	環境保全に主体性を持って取り組めていない市民がいる。(市民全体にとっては、地球温暖化の進行、自然環境の減少などが課題)			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市民一人ひとりが、高い環境意識を持ち、すべての主体が連携・協力しながら、自主的・積極的に環境保全活動を推進する。				
事業概要	枚方市環境基本計画の推進のため、市民・市民団体・事業者・行政がパートナーシップを形成し、環境の保全と創造についての取組を積極的に推進するための場となる組織(中間支援組織)として設立されたNPO法人ひらかた環境ネットワーク会議が実施する事業への支援を通して、市民や事業者等の「COOL CHOICE」推進などの環境保全活動を促進することにより、良好な環境の保全と地球温暖化対策を推進する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	市民一人ひとりが、高い環境意識を持ち、すべての主体が連携・協力しながら、自主的・積極的に環境保全活動を推進する。				アウトプット(活動結果)	エコ宣言を行い、環境保全活動に取り組む。				インプット(活動)	市とNPO法人ひらかた環境ネットワーク会議との連携により、「COOLCHOICE みんなでエコ宣言」への参加を呼びかける。			
	指標説明	COOLCHOICEひらかたみんなでエコ宣言シートにより環境に配慮した行動に取り組むと宣言した人数(累計)				COOLCHOICEひらかたみんなでエコ宣言シートにより環境に配慮した行動に取り組むと宣言した人数				「COOLCHOICE みんなでエコ宣言」の取り組みを周知したイベント・啓発活動の数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	2,500	3,000	3,500	4,000	2,175	500	500	500	12	15	15	15		
	実績	1,204	1,427	1,721		212	223	294		13	14	15			
達成度	49%				59%				100%						
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)	市民一人ひとりが、高い環境意識を持ち、すべての主体が連携・協力しながら、自主的・積極的に環境保全活動を推進する。				アウトプット(活動結果)	中間支援組織として、他団体を支援し、活動の輪を広げる。				インプット(活動)	NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議による、他団体の支援のための相談受付業務について支援を行う。			
	指標説明	COOLCHOICEひらかたみんなでエコ宣言シートにより環境に配慮した行動に取り組むと宣言した人数(累計)				ひらかた環境ネットワーク会議が他団体を支援した件数				ひらかた環境ネットワーク会議が受け付けた相談件数					
指標設定②	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	2,500	3,000	3,500	4,000	-	10	11	12	-	30	33	36		
	実績	1,204	1,427	1,721		6	8	11		13	14	14			
達成度	49%				100%				42%						

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,243	2,200	2,344		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,243	2,200	2,344		
物件費計	1,183	1,242	1,527	1,527	100.0%	
歳出計	3,426	3,442	3,871			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	1,183	1,242	1,527	1,527		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルスの影響により減少していたイベントなども徐々に戻りつつあり、前年より多くの市民にエコ宣言に取り組んでもらうことができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	環境関連イベントや環境講座を継続して開催し、啓発を行うことで、自主的・積極的に環境保全活動に取り組む市民が増加するよう努めていく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 170

事務事業名称	枚方市規格葬儀事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	環境政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2008(H20)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市規格葬儀に関する要綱				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	低廉で厳粛な葬儀を執り行いたい市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	一般的で低廉で厳粛な葬儀を希望しているが、葬祭業者には画一的なその様なメニューがない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	簡素・低廉かつ厳粛な葬儀が葬儀業者間で統一して提供できていて、市民がそれを利用できている。				
事業概要	枚方市が葬儀の仕様や金額を定め、市の規格に沿って葬儀を行う葬儀業者を募集し、「枚方市規格葬儀取扱店」を増やすことで、市の規格どおりの葬儀を希望する市民が利用しやすい環境を整える。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		簡素・低廉かつ厳粛な葬儀を市民が利用できている。				必要な市民が規格葬儀を利用する。				市域全域で規格葬儀を受けられるよう取扱店を増やす。			
指標設定	指標説明	規格葬儀利用者満足度 【算出式: アンケートにより満足またはどちらかといえば満足と回答した人/アンケート回答数×100】				規格葬儀実施件数(標準葬+略式葬)				規格葬儀取扱店数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	85	90	90	90	175	180	185	190	12	12	12
	実績	100	100	100		174	193	165		12	15	15	
	達成度	111%				89%				125%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.05
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,509	157	391		
	会計年度任用職員	0	641	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,509	798	391		
物件費計	1	72	0	4	0.0%	
歳出計	3,510	870	391			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	1	72	0	4		

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については概ね想定どおりであった。
-------	-------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	市営葬儀に代わる簡素、低廉かつ厳粛な葬儀メニューが求められていることから、今後も取り組みを継続する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 171

事務事業名称	枚方市立やすらぎの杜施設維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	環境政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2008(H20)		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立火葬場条例施行規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市営の火葬場で火葬を希望する人			
	サブターゲット	火葬場の近隣住民			
	ターゲットが抱える課題	できるだけ安価で利用できる衛生的かつ厳粛、心が安らぐ火葬を希望している。			
	ターゲットが抱える課題	近隣の環境へ悪影響を及ぼす可能性がある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	火葬場を適正に運営し、全ての利用者が常時、快適に利用できている。また、近隣の環境に配慮ができています。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と連携し、適切に火葬場の運営を行う。 死亡された市民等を火葬する施設として、火葬中の設備機器トラブルの発生や地域環境を害する運転等を起こさないために、定期補修工事等を実施し、適切な施設の維持・管理を行う。 毎年度、排ガス測定を実施し、排出に関する目標値を達成しているか確認を行う。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						枚方市立やすらぎの杜を予定通り稼働する。				枚方市立やすらぎの杜が計画的に維持管理されている。				
指標設定	指標説明					やすらぎの杜稼働率 【年間稼働日数/年間稼働予定日×100】				修繕料、維持補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額×100】				
	指標種類					増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					100	100	100	100	100以内	100以内	100以内	100以内
	達成度					100%				86%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.85
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,337	7,543	14,452		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,337	7,543	14,452		
物件費計	194,078	188,975	219,424	226,982	96.7%	
歳出計	201,415	196,518	233,876			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	201,114	157,443	219,734	234,767	
	市債	0	0	0	0	
	その他	12	15	30	13	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	201,126	157,458	219,764	234,780	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	31,517	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については、概ね想定どおりであった。 なお、人件費の増額の理由は、次期指定管理者選定に伴う事務量の増加が主な要因である。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	火葬場を適正に運営できるよう、計画的な設備等の更新を行う。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 584

事務事業名称	鳥獣捕獲許可関連事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	環境政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		23.豊かな自然環境を大切にすまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的業務事業
事業期間	1998(H10)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	野生鳥獣(有害鳥獣や特定外来生物など)により住居侵入や農作物食害・糞害などの被害を受けている市民及び事業者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	野生鳥獣の住居侵入や農作物食害、糞害などを被っているが、野生鳥獣保護の観点から自由に捕獲等ができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	野生鳥獣の捕獲等により、野生鳥獣(特定外来生物や有害鳥獣など)による被害がなくなる。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 野生鳥獣等の相談に関する事務 有害鳥獣捕獲等の許可及び捕獲器の貸出業務 特定外来生物であるアライグマについて、捕獲器の貸出及び捕獲個体の運搬について、業者に委託して実施。 鳥獣飼養登録等事務 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
			各種相談等に応じ、鳥獣捕獲許可をすることにより、被害が減少する。				野生鳥獣等の被害を受けている市民及び事業者から捕獲許可申請等を受け付ける。				
指標設定	指標説明		捕獲頭数(イタチ・ハト・カラス等)				鳥獣捕獲許可申請件数				
	指標種類		減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績		650	554	537	519	250	90	70	50
	達成度		141%				10%				

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						特定外来生物(アライグマ)の防除により、健全な生態系が守られる				アライグマの被害の相談があった市民等に対し、捕獲器を貸し出す			
指標設定②	指標説明					アライグマ捕獲頭数				アライグマ捕獲器設置依頼件数			
	指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	目標 (見込み)				R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					-	76	78	81	-	140	145	150
	達成度					74%				96%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.80
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,760	5,107	6,250		
	会計年度任用職員	0	229	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,760	5,336	6,250		
物件費計	2,732	4,095	3,254	4,157	78.3%	
歳出計	8,492	9,431	9,504			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	377	457	371	341	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	377	457	371	341	
一般財源(物件費に充当されるもの)	2,355	3,638	2,883	3,816		

5. 総括的分析

総括的分析	野生鳥獣の捕獲数が目標を大きく上回ったのは、例年、製品や建築物の被害を受けている大規模工場や企業での鳥類の捕獲頭数が減少していることが要因のひとつとして考えられる。特定外来生物や有害鳥獣による被害をなくすためには、捕獲だけではなく、被害防除対策の推進にも取り組んでいく必要がある。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も法律と防除計画に則り、自然環境・野生動物の保護と市民の生活被害の防止に努めていくとする。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 587

事務事業名称	自然保護啓発事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	環境政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	23.豊かな自然環境を大切にすまち									
	実行計画名	23-1.里山の保全									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1998(H10)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	自然環境保全法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	普段自然とふれあう機会があまりない市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	自然とふれあう機会が少ない			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	自然とふれあう、また、自然環境について考える機会を通して、自然環境保全の意識が醸成されている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 本市の自然環境を身近に感じてもらうため、天野川や山田池公園などで、魚や昆虫、植物などの自然観察会等を開催。 自然環境を考える講演会を開催。 R4年度からR5年度にかけて、第7回自然環境調査(全域調査)を実施。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民一人ひとりの自然環境の意識が醸成されている。				各種イベントに参加した市民が、自然とふれあう、自然環境について考える機会となる。				自然保護に関する各種啓発イベント等を開催し、自然環境について考える機会となる。			
指標設定	指標説明	観察会等参加者のうち、自然を大切にしようと思った人の割合【算出式:アンケートにより「自然を大切にしようと思う」と回答した人/アンケート回答数×100】				自然観察会等参加者数				自然観察会等開催回数			
		単位		%	単位		人	単位		回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	85	88	88	90	265	275	275	375	6	6	6	9
	実績	93	95	93		91	195	191		3	6	6	
	達成度	106%				69%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,396	2,043	7,812		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,396	2,043	7,812		
	物件費計	75	201	8,458	8,709	97.1%
歳出計	1,471	2,244	16,270			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	75	201	8,458	8,709		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染防止のため、例年より定員数を削減しての開催であったが、観察会によってはキャンセル待ちが出るほどの申し込みがあったことから、市民の自然環境への関心の高さが伺えた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も市民が身近な自然環境と触れ合い、環境保全意識をより一層高める機会として取り組む。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 637

事務事業名称	水道事業会計補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	環境政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2004(H16)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方公営企業法、枚方市補助金等交付規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市上下水道局上下水道経営部			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市民の生活に必要な不可欠な水道水を供給する水道事業の経営の健全化及び水道料金の抑制を図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市水道事業の健全化と水道料金の抑制が図られている状態。				
事業概要	一般会計から水道事業会計へ補助金・負担金を繰り出すことで、市民の生活に必要な不可欠な水道水を供給する水道事業の経営の健全化と水道料金の抑制につなげる。 1. 水道事業会計への補助金(福祉減免分) 2. 水道事業会計への負担金(上水道の水源開発に要する経費(1/3相当額)・児童手当分)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.01
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	79	78		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	79	78		
	物件費計	327,787	110,433	1,031,909	1,056,701	97.7%
	歳出計	327,787	110,512	1,031,987		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	327,787	110,433	1,031,909	1,056,701	

5. 総括的分析

総括的分析	一般会計から水道事業会計への補助金・負担金の繰り出し事務を行った。なお、令和4年度は通常の補助金・負担金の繰り出しに加えて、コロナ禍における原油価格・物価高騰等対応分として、基本料金の減免に要する費用919,218,210円を併せて支出した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	基準に従い、今後も適正に繰り出し事務を行う。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 664

事務事業名称	エコオフィス推進事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	環境政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	27.地球温暖化対策に取り組むまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2000(H12)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、エネルギーの使用の合理化に関する法律、大阪府温暖化の防止等に関する条例、枚方市役所CO2削減プラン～枚方市役所地球温暖化対策実行計画～				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市役所を含む市内事業者(その効果は全市民に及ぶ)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	施策に環境配慮の視点が盛り込めていないものがある。(市民全体にとっては、異常気象など、地球温暖化の進行が課題)			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市役所が率先して、環境保全活動を実施し、市役所の事務事業から排出される温室効果ガスの削減を図るとともに、市内の事業者が、環境保全活動を推進し、市域の温室効果ガス排出量の削減が図られている。				
事業概要	・「枚方市役所CO2削減プラン～枚方市役所地球温暖化対策実行計画～」や「枚方市エコオフィスに関する取り組み指針」などにに基づき、省エネ・省CO2対策を実施。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	エコオフィスの取り組みにより、市役所の事務事業で消費されるエネルギー使用量が削減される。				インプット (活動)	市役所の率先行動として、エコオフィスの取り組みを実施する。			
	指標説明					エネルギー消費原単位削減率 (H25年度基準)					各部でのエコオフィス取り組み実績の平均点				
指標設定	指標種類					単位	%					単位	点		
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)					8.30	8.80	9	10	80点以上	80点以上	80点以上	80点以上		
	実績					8.70	2.30	6.10		87	85	89			
達成度					132%				111%						

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	718	707	781		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	718	707	781		
物件費計	0	0	0	0		
歳出計	718	707	781			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	コロナ禍以前の業務量に戻りつつあるもののエコオフィスの取り組みは継続して実施されていることにより一定削減が行われている。一方で、新型コロナウイルス感染症対策として換気を行いながら冷暖房を使用することも引き続き行っていることから、電気・都市ガスの使用量が増加し、目標は未達成となっている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続きエネルギー使用量の削減等を図るため、枚方市環境マネジメントシステム(H-EMS)に基づき、適切に管理していく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 665

事務事業名称	環境教育推進事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	環境政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	27.地球温暖化対策に取り組むまち									
	実行計画名	27-1.地球温暖化対策の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1995(H7)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	環境の保全のための施策の推進及び環境教育の推進に関する法律、及び市環境教育・環境学習推進担当				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	主に市内の保育所・園、幼稚園、小学校に在籍する園児・児童(対象は全市民)			
	サブターゲット	環境教育を受けた園児・児童の家族や関係者			
	ターゲットが抱える課題	環境問題について学ぶ機会が少ない。また、環境について学ぶきっかけがない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	環境について学ぶ機会が常時、確保され、市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルへの転換が図られている。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「幼児のための体験型環境学習プログラム」として、市民や市職員が講師となり、市内の保育所・園、幼稚園で環境出前学習を実施。 ・小学校高学年を対象とした環境副読本「わたしたちのくらしと環境」の発行。 ・子どもたちが夏休みに家庭で排出されるCO2排出量を体感し、地球温暖化をはじめとする環境問題への関心を持ってもらうきっかけとして「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、応募のあった小学校に配布。 ・各学校園において、教職員や幼児、児童、生徒などを対象とした市独自の学校版EMSプログラム「S-EMS」を導入し、エコオフィス活動をはじめ環境保全活動を推進。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルを意識し、行動する。				出前学習に参加し、保育園児やその保護者の方が環境について触れる機会が増える。				市内の保育所・園、幼稚園に対して環境出前学習の実施・参加を呼びかける。			
指標設定	指標説明	出前学習などに参加したことにより、環境保全に関心を持ち、環境保全活動を実施しようと思った割合【算出式: アンケートにより「子どもたちが環境保全に関心を持つきっかけとなったと思う」と回答した園の数/アンケート回答数×100】				環境出前学習参加者数				環境出前学習実施回数			
		単位		%	単位		人	単位		回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	80	90	90	90	4,320	4,380	4,440	4,500	46	48	50	52
	実績	100	100	98		1,428	2,143	3,018		11	26	37	
	達成度	109%				68%				74%			

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルを意識し、行動する。				「ひらかたみんなのエコライフつうしんぼ」に取り組む。				「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、参加を呼びかける。			
指標設定 ②	指標説明	出前学習などに参加したことにより、環境保全に関心を持ち、環境保全活動を実施しようと思った割合【算出式:アンケートにより「子どもたちが環境保全に関心を持つきっかけとなったと思う」と回答した園の数/アンケート回答数×100】				エコライフつうしんぼ提出人数				エコライフつうしんぼ申込人数			
		単位 %				単位 人				単位 人			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	80	90	90	90	2,150	2,190	2,230	2,280	2,750	2,770	2,790
	実績	100	100	98		1,267	1,590	1,481		1,936	2,161	1,925	
	達成度	109%				66%				69%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.60
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,237	3,143	4,687		
	会計年度任用職員	0	229	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,237	3,372	4,687		
	物件費計	686	677	1,400	1,532	91.4%
	歳出計	4,923	4,049	6,087		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
	一般財源(物件費に充当されるもの)	686	677	1,400	1,532	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルスの影響が少なくなってきたことにより、イベントの実施回数や参加人数が増加した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	エコライフつうしんぼの参加人数が増えるよう、実施方法や呼びかけ方法の見直しを行う。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 667

事務事業名称	環境基本計画推進事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	環境政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		27.地球温暖化対策に取り組むまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1999(H11)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市環境基本条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	環境審議会				
事業対象	メインターゲット	市の環境保全施策に関わる市民、市民団体、事業者等(その効果は全市民に及ぶ)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	環境保全に主体性を持って取り組めていない市民がいる(市民全体にとっては、地球温暖化の進行、自然環境の減少などが課題。)			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	現年度分の事業計画の達成により、市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルへ転換することで、現在の良好な環境を次の世代へ引き継いでいくことができる状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市環境基本条例第7条の規定に基づき、環境の状況、環境の保全と創造に関する施策を総合的かつ計画的に進めるための計画として策定した環境基本計画の進行管理を行うため、施策の実施状況の把握・点検を行い、継続的に計画の推進を図る。 ・環境の現況と環境基本計画に基づく施策の実施状況等を掲載した「ひらかたの環境(環境白書)」を発行。 ・市民向けの啓発として主に市の環境保全に関する取り組みを紹介した「ひらかたエコカレンダー」を発行。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
						事業計画に位置付けた事業が確実に推進される。				環境基本計画事業計画に事業を位置づける。			
指標設定	指標説明					事業計画に位置付けた事業の目標達成率【計算式:目標達成事業数/環境基本計画事業計画に位置付けた事業数】				環境基本計画事業計画に位置づけた事業数			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					70	90以上	90以上	90以上	145	82	82	82
	実績					91	72	82		145	82	86	
達成度					91%				105%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.80
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,030	5,107	6,250		
	会計年度任用職員	0	458	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	1,064	0		
	人件費計	9,030	6,629	6,250		
	物件費計	363	116	0	274	0.0%
	歳出計	9,393	6,745	6,250		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	363	116	0	274	

5. 総括的分析

総括的分析	環境基本計画事業計画に位置付けている事業のうち、目標を設定している55事業のうち、10事業で目標を達成しなかった。 このうち3事業は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により目標を達成できなかった事業である。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き第3次環境基本計画に基づく各施策の実施状況の把握・点検を行い、継続的に計画の推進を図る。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 668

事務事業名称	地球温暖化防止対策事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	環境政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	○	R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	27.地球温暖化対策に取り組むまち									
	実行計画名	27-1.地球温暖化対策の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2000(H12)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律				
関係補助金名称	枚方市省エネ家電買い換え促進事業補助金		サンセット	—	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	環境意識が未醸成な市民(その効果は全市民に及ぶ)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	環境保全に主体性を持って取り組めていない市民がいる。(市民全体にとっては、異常気象など、地球温暖化の進行が課題。)			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	現年度分の事業計画のうち、枚方市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に係るもの等の達成により、市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルへ転換することで、市域の温室効果ガス排出量の削減が図られている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 「枚方市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に基づき、市域の温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを実施する。 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき設置した「枚方市地球温暖化対策協議会」を通じて、事業者と行政が連携し、市域における地球温暖化対策を実施する。 暑気対策事業として、緑のカーテンの普及や打ち水などを実施する。 年間を通して、様々な形式の環境イベント・キャンペーンを継続的に実施することにより、より多くの市民に地球温暖化防止を中心とする環境保全意識の普及・啓発を図る。 サブリ村野の「環境情報コーナー」において、地球温暖化対策や省エネなどの環境に関する情報発信、啓発活動を実施する。 枚方市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の計画期間が令和4年度末に満了することから、次期計画を策定する。 公共施設に太陽光発電設備の設置し、公民連携で発電した電気を公共施設や民間施設に供給するとともに、EV車の導入を推進し、業務部門、運輸部門の電力由来による二酸化炭素排出量実質ゼロを達成を目指す。 市域における再生可能エネルギーのポテンシャルを調査し、普及拡大に努める。 対象となる省エネ家電に買い換えた市民に対し、補助金を交付することで、市域における二酸化炭素排出量の削減を目指す。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民、市民団体、事業者、行政の取り組みにより、市域の温室効果ガス排出量が削減される				事業者と行政が連携して地球温暖化対策に取り組む。				「枚方市地球温暖化対策協議会」を通じて、行政と連携する事業者を増やす。			
指標設定	指標説明	市域の温室効果ガス排出量				地球温暖化対策協議会事業計画に基づき活動した延べ事業所数				会員事業者数			
		単位		t-CO2		単位		社		単位		社	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	2,424,594	2,346,809	2,269,023	2,191,237	500	670	680	690	126	128	130	132
実績	2,352,112	2,219,040	2,251,678		490	714	694		127	135	138		
達成度	101%				102%				106%				

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民、市民団体、事業者、行政の取り組みにより、市域の温室効果ガス排出量が削減される				各種イベント等を通じて、市民の地球温暖化防止に関して触れる機会が増える。				地球温暖化防止に係る各種イベント等を実施。			
指標設定②	指標説明	市域の温室効果ガス排出量				各種イベント参加者数				各種イベント開催回数			
		単位 t-CO2				単位 人				単位 回			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	2,424,594	2,346,809	2,269,023	2,191,237	1,200	1,250	1,350	1,500	9	10	11	12
	実績	2,352,112	2,219,040	2,251,678		0	1,430	2,170		0	10	14	
	達成度	101%				161%				127%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	5.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.09
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	21,297	19,643	39,060		
	会計年度任用職員	0	0	189		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	21,297	19,643	39,249		
	物件費計	22,576	27,758	103,055	103,696	99.4%
歳出計		43,873	47,401	142,304		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	21,055	21,054	21,054	21,332	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入計(物件費に充当される特定財源)		21,055	21,054	21,054	21,332	
一般財源(物件費に充当されるもの)		1,521	6,704	82,001	82,364	

5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> 計画期間が令和4年度末で満了した「枚方市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)改定版」の削減目標を達成することができた。 「省エネ家電買い換え促進事業補助金」の実施に伴い、市HP、SNSや関係部署のアプリ、民間の情報誌等を活用した周知を行い、2,533件 69,000,000円の補助金を交付し、市域の温室効果ガス排出量の削減に努めた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、令和5年3月に策定した「第2次枚方市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に基づき、地球温暖化対策を推進する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 670

事務事業名称	環境マネジメントシステム推進事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	環境政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		27.地球温暖化対策に取り組むまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2001(H13)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市職員及び市の環境保全施策に関わる市民、市民団体、事業者等(その効果は全市民に及ぶ)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市の施策に環境配慮の視点が盛り込めていないものがある。(市民全体にとっては、地球温暖化の進行、自然環境の減少などが課題)			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	環境基本計画の進行管理を行い、市の施策に環境の視点を盛り込むとともに、環境保全施策を推進している。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年4月より、ISO14001の取り組みで得られたノウハウを生かしながら、これまで計画や指針ごとに行っていた管理を集約・一元化した市独自の環境マネジメントシステム「枚方市環境マネジメントシステム(H-EMS)」の運用を開始し、環境保全活動を推進。 「枚方市低公害車等導入指針」に基づき、公用車の車両保有状況を把握するとともに、低公害車等導入を推進。 「枚方市環境に配慮した物品の購入(グリーン購入)推進指針」に基づき、市役所のグリーン購入を推進。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
			H-EMSにより、環境保全活動について、PDCAサイクルが適正に運用されている。				枚方市環境マネジメントシステム(H-EMS)を運用する。				
指標設定	指標説明		内部環境監査で指摘がない、または指摘を受けて改善された項目数				内部環境監査を実施した項目数				
				単位	件		単位	件			
	指標種類					増加することが良いとされる指標					
	指標数値	目標 (見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績		269	256	184	184	269	256	184	184
達成度						117%					

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.70
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,114	4,714	5,468		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,114	4,714	5,468		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計	5,114	4,714	5,468			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	特に指摘事項がなく、枚方市環境マネジメントシステム(H-EMS)に基づき、適切に管理されていた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続きエネルギー使用量の削減等を図るため、枚方市環境マネジメントシステム(H-EMS)に基づき、適切に管理していく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 672

事務事業名称	まち美化啓発事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	環境政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち									
	実行計画名	28-1.美しい景観形成の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1980(S55)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	<small> 仮力中がイ捨てによるごみの散乱及び犬の糞尿の放置の防止に関する条例、仮力中路上喫煙の制限に関する条例 </small>				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公共場所等を利用する市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	衛生上・美観上、不快に感じる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	歩きたばこや吸い殻などのポイ捨てなどがなく、清潔で美しいまちになっている。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市内の各駅周辺において、職員による、条例周知のための街頭啓発キャンペーンを実施。 広報、エフエムひらかた等で、条例の規定の周知や、路上喫煙禁止区域の周知等の啓発を実施。 「犬のふん放置禁止」「ポイ捨て禁止」の啓発看板を、希望する個人・自治会・事業者等へ配布。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)								
	ロジックモデル	空き缶や吸い殻などのポイ捨てなどがなく、清潔で美しいまちになっている。	登録団体により清掃活動が実施され、まち美化が進む。				まち美化に取り組む市民や事業者等を支援し、活動の輪を広げる。							
指標設定	指標説明	清掃活動により収集されたごみの量				登録団体が実施した清掃活動回数				アダプトプログラム・アドプト・地域清掃・ボランティアサポートプログラム登録団体数				
		単位		袋		単位		回	単位		団体			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績	28,000	27,000	26,500	26,000	1,310	1,315	1,320	1,325	375	377	379	381
達成度	109%				104%				94%					

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.15
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	12,620	2,043	1,172		
	会計年度任用職員	0	664	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	12,620	2,707	1,172		
物件費計	3,308	4,619	5,772	7,779	74.2%	
歳出計	15,928	7,326	6,944			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	3,308	4,619	5,772	7,779		

5. 総括的分析

総括的分析	地域清掃やアダプトプログラムの登録団体数及び、活動回数が増加したのは、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、自粛していた団体や企業の活動再開が理由と考えられる。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	昨年に引き続き、まち美化啓発事業について清掃活動等を推進していく。

事務事業名称	プラごみ削減・ポイ捨て防止推進事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	環境政策課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3	○	R4		R5		
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標	28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち										
	実行計画名	28-1.美しい景観形成の推進										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2020(R2)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	海岸漂着物処理推進法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	環境意識が未醸成な市民(その効果は全市民に及ぶ)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	環境保全に主体的に取り組めていない市民がいる(市民全員にとっては、マイクロプラスチックによる海洋汚染などが課題)			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市民一人ひとりが、海の豊かさを守るという意識を持ち、ポイ捨てゼロや使い捨てプラスチックの使用削減に向けて主体的に行動する。				
事業概要	<p>市民・市民団体・事業者・行政が連携・協力して、「ポイ捨てをしない、させない環境づくりや、「使い捨てプラスチックの使用削減に向けた取り組み」を行うことで、世界的に深刻化している海洋プラスチック問題の解決・改善につなげていく。</p> <p>また、さらにこうした取り組みを通して、市民のSDGsに対する認知度を高めるとともに、本事業がSDGsの17のゴールの1つである「海の豊かさを守ろう」の達成に向けたものであることを意識した主体的な行動を喚起することを目指していく。</p> <p>①プラスチックごみのポイ捨て防止啓発 ・クリーンリバー、アダプト団体との連携による清掃活動と啓発活動</p> <p>②使い捨てプラスチックの削減 ・NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議や市内事業者と連携した使い捨てプラスチック削減に向けた普及啓発の推進</p> <p>③市役所での率先行動 ・市役所から排出する使い捨てプラスチックごみ削減に向けた取り組み(審議会等でのマイボトル・マイバッグ持参の呼びかけ等)</p> <p>④①②の取り組みを通じたSDGsの「14 海の豊かさを守ろう」のゴール達成に向けた取り組みの推進 ・クリーンリバー、アダプト団体との連携によるSDGsの周知・啓発 ・公共施設等へのポスター掲示やイベント等でのSDGsの周知・啓発</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	市民一人ひとりが使い捨てプラスチックの使用削減に努めるとともに、ポイ捨てをしない。				アウトプット(活動結果)	使い捨てプラスチックごみの削減について考える機会となり、アイデアの周知により、取り組みの啓発となる。				インプット(活動)	NPO団体との連携による「プラごみ削減アイデアコンテスト」の実施。			
	指標説明	河川の清掃活動により回収されたごみの量				コンテスト参加者数(累計)				コンテストの周知活動回数					
指標設定	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	1,000	1,300	1,000	800	200	250	300	400	5	5	5	5		
	実績	160	230	230		67	0	0		0	0	0			
達成度	177%				0%				0%						

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		市民一人ひとりが使い捨てプラスチックの使用削減に努めるとともに、ポイ捨てをしない。				市内商店へ掲示の協力を呼び掛けることにより、更なる掲示の推進、及び啓発が進む。				使い捨てプラスチックの削減に向けたポスターを掲示する。			
指標設定②	指標説明	河川の清掃活動により回収されたごみの量				市内のポスター掲示協力店舗及び事業所数(累計)				ポスターの掲示枚数			
		単位		kg	単位		件	単位		枚			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	1,000	1,300	1,000	800	40	50	60	70	125	150	175	200
実績	160	230	230		7	18	8		69	70	52		
達成度	177%				13%				30%				
ロジックモデル③		市民一人ひとりが使い捨てプラスチックの使用削減に努めるとともに、ポイ捨てをしない。				クリーンリバー等への参加により、市民意識の向上が図られる。				地域や市民団体等との連携によるクリーンリバー等を通じた啓発活動の実施。			
指標設定③	指標説明	河川の清掃活動により回収されたごみの量				クリーンリバー等の参加者数				啓発活動実施回数			
		単位		kg	単位		人	単位		件			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	1,000	1,300	1,000	800	450	800	800	800	5	3	3	3
実績	160	230	230		0	89	220		0	1	2		
達成度	177%				28%				67%				
ロジックモデル④		市民一人ひとりが使い捨てプラスチックの使用削減に努めるとともに、ポイ捨てをしない。				プラごみダイエツト行動宣言の参加者が増える。				プラごみダイエツト行動宣言への参加を呼びかける。			
指標設定④	指標説明	河川の清掃活動により回収されたごみの量				プラごみダイエツト行動宣言の参加者の延べ人数(累計)				プラごみダイエツト行動宣言参加を呼びかける周知活動の回数			
		単位		kg	単位		人	単位		件			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	1,000	1,300	1,000	800	1,000	3,760	6,880	10,000	5	5	5	5
実績	160	230	230		640	3,037	7,600		5	5	8		
達成度	177%				110%				160%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,662	2,986	3,906		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,662	2,986	3,906		
	物件費計	50	3	0	10	0.0%
	歳出計	5,712	2,989	3,906		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	50	3	0	10	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルスの感染が収まりつつあるためイベントや周知活動の開催・参加者共に増加傾向にあり、それに伴いプラごみダイエツト宣言の参加者数を増加させることができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も積極的に周知活動を行い、プラごみ削減の啓発活動に努めるものとする。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 939

事務事業名称	環境政策課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	環境部			課	環境政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	環境政策課及び環境部内の所管事務を適正かつ円滑で効率的に執行する				
事業概要	部内及び課内の庶務、議会・組合等に対する調整及び交渉等、文書管理、物品管理、予算編成・決算管理等並びに給与・休暇等の事務処理及び行政財産の管理を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.79
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	-	30,328	21,795		
	会計年度任用職員	-	0	0		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	30,328	21,795		
	物件費計	-	1,417	48,360	50,851	95.1%
	歳出計	-	31,745	70,155		
歳入	国庫支出金	-	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	-	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	-	0	0	0	
	市債	-	0	0	0	
	その他	-	0	3,881	3,693	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	-	0	3,881	3,693	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	-	1,417	44,479	47,158	

5. 総括的分析

総括的分析	環境政策課に係る庶務事務を適正かつ円滑に運営を行った。 なお、歳出の決算額が激増しているのは、基金の所管替えによるもの。 スマートライフ推進基金(循環型社会推進課) ➡ 環境基金(環境政策課)
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も引き続き円滑な運営を図っていく。